

間伐材製オブジェ 森林組合に贈る

厳木高とうつほ木小

唐津市
厳木

唐津市厳木町の
厳木高とうつほ木
小の児童生徒が20

日、町内のまつら森林組合から譲り受けた間伐材で作ったオブジェ約100本を同組合に贈った。

環境保全を願う心を育み、世代間の交流を深めようと、うつほ木小の3、4年生39人



まつら森林組合に間伐材で作ったオブジェ(手前)を贈った厳木高とうつほ木小の児童生徒ら

唐津市厳木町と同組合

と、厳木高の2、3年生41人が2人1組になって2、3本ずつを製作した。

間伐材を斜めにカットし、自然豊かな森にしか住めないフィンランドの妖精「プティ」の顔を断面に描いた。

同組合であった贈呈式では、4年の藤田里桜さん(10)が児童を代表し、「プティがたくさん住める町にしたいです」とあいさつ。組合の伊藤達美参事にオブジェを手渡した。